

令和4年度 NO. 4

# コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

R 4.1 2.9

(事務局：国見町教育委員会学校教育課 ☎585-2892)



第4回CS委員会は、11月11日（金）、  
くにみ幼稚園を会場に開催しました。

くにみ幼稚園の園児の様子を見るとともに、前回に  
続き熟議では「くにみ学園構想」について、協議がなされました。

## くにみ幼稚園を参観した声から

園児の運動量に圧倒された。くにみ幼稚園児の運動能力は高いと思う  
ので、それを小中でも維持することが課題だと思った。



いつも先生方が子どもたちに寄り添って  
くれているので感謝している。広い園庭でのび  
のびと走っている姿が  
いいと思っている。



自分たちのやりたい  
ことを、のびのびと力  
いっぱいやっている姿  
は、子どものあるべき  
姿だと思った。



＜園児の保育の様子を参観するCS委員＞

あるものを活用して創  
意工夫して自分で作り遊  
ぶというのは、創造性を  
育成することができてと  
てもいいことだと思っ  
た。

くにみ幼稚園のグラウンドは日本一だと思う。それを  
「くにみ学園」でも生かせたらと感じた。

## 認定こども園とは

「くにみ学園」を開設するにあたり、幼稚園と保育所を合わせた「認定こども園」を考えています。「認定こども園」とは、教育と保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持つ施設です。

「認定こども園」のメリットとして、  
・子どもの数が減っても、一定規模の集団の中で育つことができる。  
・異年齢の子どもや保護者の交流ができる。  
・保育所、幼稚園、預かり保育の職員の連携により、子どもたちにより良い保育や教育ができる。  
ことを考えています。

# くにも学園構想策定に向けて

くにもの認定こども園では、**・こんな活動（体験）をさせたい**  
**・そのためには、こんな園の施設があるといいな**

くにも学園構想における  
「認定こども園の在り方」に  
ついて話し合いを行いました。

## 活動（体験）

- ・ 田んぼ、畑が近くにあって、子どもたちが稲刈りやさつまいもほりができる。
- ・ 音楽、美術などの芸術体験スペース。
- ・ 危険、安全を体感、体験できる活動をさせたい。
- ・ 飼育をするなら、命の大切さを学べるものに。
- ・ 農業体験、土いじり→収穫の喜び。
- ・ 創造性、共同性等の育成のため、共同での作業（ものづくり）スペースがあれば。
- ・ 野菜を育てて、みんなで調理してそれを食べる。（0～15歳、大人も含めて芋煮会等）
- ・ 遊びを与えるのではなく、遊びを見つける工夫→自然を増やす、動物がいる。
- ・ 国見の歴史を知る意味で蓮の育成もよいと思う。
- ・ 自然環境を体験できる山が近くにあっても良い。

## 読書

- ・ 絵本の読み聞かせ、紙芝居、人形劇などをたくさん見せてあげる。
- ・ 読書体験（読み聞かせを中心に）→毎日実施（5～10分程度）
- ・ 町内のサークルなどと連携して機会を増やす。

## 施設

- ・ 広い園庭が欲しい。
- ・ 芝生スペース。
- ・ 広くて起伏のある芝生の広場。
- ・ 広い駐車場→送迎時保護者による事故防止。
- ・ セキュリティーをしっかりとできる環境。
- ・ 安全安心の遊具でのびのび遊ぶ。
- ・ ミニ森林、ビオトープ。



<くにも学園について話し合うCS委員>

## 交流

- ・ 小、中学生との交流が自然にできると良い。
- ・ 地域の方々との交流できるスペースとコーディネート等の部屋が必要。
- ・ こども園と小中学校を一つの建物とするか同じ敷地にしたい。
- ・ 畑、田での地域の方との交流。
- ・ 町内施設の交流活動。
- ・ 近くに住む住民の理解と協力を（運動会に招待、一緒に芋煮会をやる、一緒に草むしり等協力してもらおう）。
- ・ 町、地区の行事になるべく参加させたい。
- ・ 園庭で自分たち（家族）が畑を借りて、野菜を育てる。
- ・ 地域の方と交流する教育活動（栽培活動、収穫祭など）
- ・ 異年齢で交流できる。
- ・ 小中学生との交流。
- ・ 0～2歳児を3～5歳児がみる。
- ・ 地域の方と交流する教育活動。

- ・ 広い教室、オープンスペース。
- ・ 広い多目的スペース（雨天時も遊べる）。
- ・ 発達段階に応じた専用スペース。
- ・ ステージがあり発表ができるような冷暖房完備の体育館（遊戯室）。
- ・ 保護者の集まれる部屋（お迎えの待機場所）→子どもの安心。